

# 業務の概要

## 令和元年度 業務実績

### 【総括】

当院は、長野県の精神科医療の中核病院として、24時間365日体制での精神科救急医療及び他の医療機関では治療が難しい精神疾患を持つ患者を受け入れた。

依存症治療ではアルコールに関する「依存症専門医療機関及び依存症治療拠点機関」の指定を受けて関係医療機関等との連携を強め、児童精神科は「子どものこころ診療センター」と名称を新たにし、多職種チームによる高度な専門医療を提供した。

認知症医療では、上伊那医療圏における「認知症疾患医療センター」の令和2年4月開設を目指し、関係機関等との調整や運営方法の検討を進めた。

また、精神科病院では取り組みが少ないNST（栄養サポートチーム）により、病棟ラウンドを行い、低栄養、摂食障がい、アルコール障がいなどへ介入した。この取り組みにより、日本臨床栄養代謝学会から「NST稼働施設」の認定を受けた。

令和元年度に特に力を入れた取り組みは、①緊急時の入院受入れ体制の充実、②医療・福祉との連携強化、外来救急・ウォークインへの適切な対応、③医業収支を含めた経営の安定化の3点であった。

①では、ベッドコントロール会議により、保護室・観察室を確保し、措置入院、医療保護入院、他の医療機関では対応が難しい患者等の受入れを行った。②では、地域連携室を前方と後方の連携チームに再編し、関係機関と連携を強化することで、外来救急・ウォークインへのトリアージによる円滑な受入れと退院後の支援に取り組んだ。③では、施設基準の見直しによる報酬の増、適切な病床利用、地域クリニックとの連携によるデイケア利用者の増加や訪問看護の充実などに取り組んだことで収益を伸ばした。

令和2年度から始まる第3期中期計画の策定では、職員全体の意見を汲み上げることにより、将来の病院のあるべき姿を見据え、取り組むべき課題と方策などを整理して進めた。

### ◆高度・専門医療の提供

#### (1) 精神科救急医療の提供

- ・ 県内精神科救急の拠点として、24時間365日体制で救急患者の受入れ体制を確保  
【救急時間外対応件数：292件、うち入院件数89件（33.2%）】  
【緊急措置及び措置入院件数：26件】
- ・ 措置入院患者に対して、保健所と連携し「地方自治体が行う退院支援のガイドライン」に沿った退院支援を実施 【実施件数：8件】

#### (2) 児童・思春期精神科の充実

- ・ 児童・思春期精神科の充実を図るため、診療部に「子どものこころ診療センター」を開設
- ・ 医師、公認心理師及び精神保健福祉士などの多職種チームによる外来診療を継続  
【元年度：67件、30年度：54件】
- ・ 思春期デイケアにおけるSST（ソーシャルスキル・トレーニング）プログラムの見直しや学習支援の導入、外来におけるペアレントトレーニングの開始など内容を強化
- ・ デイケアのリーフレットやSSTの紹介チラシを新たに作成し、地域のクリニックに通院する患者の当院デイケア参加を促進  
【延利用者数 元年度：553人（体験者29人を含む）、30年度230人】
- ・ 地元の教育委員会と協議し、児童・生徒の当院デイケア参加を学校の出席扱いとなるよう

調整

- ・県内の関係機関に対して医学的支援、人材育成等を行うことを目的とした「子どもの心の診療ネットワーク事業」において、医師の外来陪席実習を実施したほか、厚生労働省主催の連絡会議等に参加

(3) 認知症治療の充実

- ・医師、保健師、公認心理師など多職種による「もの忘れ外来」診療を継続するとともに生活支援を目的として地域包括支援センターへ紹介（認知症ケアパス）するなど医療・介護の連携を推進  
【受診件数：74件、うち包括支援センターへの情報提供件数：44件】
- ・高齢者や認知症症状が見受けられる入院患者について、多職種チームによる病棟ラウンドを行い、アセスメントをフィードバックして治療方針などに活用  
【月2回、元年度：延べ111人】

(4) 依存症治療の推進

- ・県からアルコール依存症専門医療機関・治療拠点機関の指定（令和2年1月）を受け、専門医療とともに相談機能、研修、情報発信などを推進
- ・令和2年度の薬物依存症専門医療機関・治療拠点機関の指定に向けて体制を整備
- ・ギャンブル依存症等に関する治療や専門相談を開始するため、国が実施する研修を医師及び看護師が受講するとともにプログラム等を実施している先進病院を視察
- ・ゲーム・ネット依存症に関する治療研究、国内治療機関に関する情報収集と研修会へ参加

(5) 外来機能の充実

- ・外来救急やウォークイン患者に対し、緊急性の評価を行い、適切な診療を実施  
【元年度：105件、うち入院件数56件 入院率53.3%】
- ・デイケア利用者の地域生活移行への支援として、作業所の見学と体験を実施
- ・休職中のデイケア利用者へリワーク（復職）プログラムを取り入れ、復職を支援

(6) 医療観察法による医療の提供

- ・指定入院医療機関及び指定通院医療機関として、厚生労働省が示す医療観察法各種ガイドラインに沿い、対象者の社会復帰に向けた治療を実施
- ・外部評価会議、地域連絡会議を開催し、病棟の運営状況や処遇事例、緊急時における関係機関との連携などについて意見交換

(7) 入院期間の適正化及び在宅医療の推進

- ・退院後の円滑な地域支援と3か月以内の再入院抑制のため、関係スタッフが病棟カンファレンスに参加し、評価シートを用いた外出・外泊訓練の実施、退院前訪問及び新規入院患者の退院後1か月間は週1回の訪問看護を実施  
【再入院率 元年度：13.5%、30年度：18.5%、平均在院日数 元年度：71.5日、30年度：69.3日】
- ・訪問看護では、多職種訪問を進め、薬剤師による薬の説明、精神保健福祉士による福祉制度の説明や手続き等を支援【多職種訪問件数 元年度：273回、30年度：226回】

(8) クロザピン治療の実施

- ・治療抵抗性統合失調症患者に対し、クロザピン治療を実施して、長期入院となっていた患

者の退院を促進

【元年度：6人（年度末 外来4人・入院2人）、30年度：5人】

(9) m-ECT（修正型電気けいれん療法）の実施

- ・薬物療法では効果が見られない難治性、治療抵抗性の精神疾患患者に対し、治療効果の高いm-ECT（修正型電気けいれん療法）を実施（週2回・1日3例）

【元年度：延べ271件、30年度：延べ247件】

- ・院外からの治療ニーズに広く対応するため、第3期中期計画におけるm-ECTセンター化を検討

◆地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進

(1) 認知症医療の充実

- ・駒ヶ根市が実施する認知症初期集中支援チーム事業に作業療法士、認知症認定看護師が参画し、相談応需や訪問支援等を実施【訪問回数 元年度：延べ56件、30年度：延べ53件】

(2) 認知症疾患医療センターの開設準備

- ・上伊那医療圏における「認知症疾患医療センター」について、関係機関等との調整や運営方法の検討を進め、令和2年4月1日から5年間の指定が決定

◆災害医療

(1) DPAT（災害派遣精神医療チーム）の体制整備及び活動

- ・DPAT（災害派遣精神医療チーム）の体制整備を進め、チーム員の増員、研修会の開催による技術向上及び体制を強化【元年度：25名、30年度：20名】
- ・9月に首都圏で行われた内閣府主催の大規模地震時医療活動訓練に参加
- ・10月に発生した台風19号災害への対応のため、長野県の要請を受けて県北部へチーム員5名を派遣し、避難所の巡回などスクリーニングと避難者のケアを実施
- ・2月には、新型コロナウイルス感染症対応のため、厚生労働省の要請を受けて、チーム員4名を関東地方に派遣し、中国からの帰国者の健康観察等を実施

(2) 災害に備えた医療

- ・井戸水について、全項目検査（51項目）を行い、飲料水に適合するとの検査結果を得てライフラインを担保
- ・備蓄食糧について、患者人数分だけでなく、災害時に対応する職員分も追加補給
- ・大規模停電によるエアコン使用不可時に対応するため、非常電源で使用できる扇風機などを整備

(3) 新型コロナウイルスへの対応

- ・2月に外部の者が入る院内の研修会・会議の開催中止を決定、面会者の人数制限と体温測定を開始
- ・3月には、院内感染対策委員会により社会情勢に応じた対策や事業継続のための方針を決定
- ・機構本部の新型コロナウイルス感染症対策本部設置（3月27日）を受けて、30日に院内新型コロナウイルス感染症対策本部を設置、4月以降の感染防止対策、陽性者の受入れ体制の整備などを検討

◆地域における連携とネットワークの構築による医療機能の向上

(1) 地域との連携強化

- ・地域連携室の体制を前方連携チームと後方連携チームに分け、外来救急やウォークイン患者への対応や退院患者の地域移行支援を強化



- ・医療機関及び関係機関との連携強化のため、南信地域の総合病院（3病院）及び上伊那地域の精神科医療機関（2病院、4クリニック）と訪問等により打合せを実施
  - ・伊那中央病院の看護師及び医療ソーシャルワーカーとケース検討会議を開催
- (2) 総合病院等への医師派遣
- ・飯田市立病院及び伊那中央病院に医師を派遣し、総合病院における精神科リエゾンチームのコンサルティングを実施【各病院：月2回】
  - ・木曽病院及び阿南病院に医師を派遣し、木曽地域及び下伊那南部地域の精神科診療を充実【木曽病院：週1回、阿南病院：月2回】
- (3) 精神科訪問看護ステーションの開設に向けた検討
- ・山梨県立北病院等への視察を行い、開設に向けた総合的な検討や報告書を作成

### ◆人材の確保・育成と県内医療水準の向上への貢献

- (1) 医療従事者の確保と育成
- ・信州大学との連携大学院教育に関する協定により、臨床業務に携わりながら学位の取得を目指す医師を採用【元年度：2名（新規1名・継続1名）】
- (2) 出前講座の実施
- ・精神疾患、アルコール依存症、精神科薬、SST（ソーシャルスキル・トレーニング）に関することなど精神医療について、行政機関や病院の職員等を対象として出前講座を実施【元年度：7回、延べ約250人】
- (3) 初期研修医の受入れ準備
- ・令和2年度からの初期研修医の精神科研修必須化に対応するため、研修病院の派遣希望調査を実施し、受入れ可能人数や受入れ体制の確保などを検討して日程を調整
- (4) 精神科薬剤療法についての受入研修
- ・精神科研修・研究センターにおいて、地域の薬局から研修生3名を受入れ、精神科薬剤師研修プログラムを実施

### ◆県民の視点に立った安全・安心な医療の提供

- (1) より安全で信頼できる医療の提供
- ・継続的な医療の質の向上を目的とした病院機能評価の次年度受審に向けて、QM（クオリティマネジメント）委員会及び内部監査員を中心に課題の把握や改善の方向付け、各委員会の設置規程や会議録の整備状況等を確認
- (2) 患者サービスの一層の向上
- ・薬剤師外来では、患者や家族からの相談、服薬に対する不安・不満の解消やQOL（生活の質）の向上を進め、患者満足度の向上及び再入院を抑制【薬剤師外来を含む外来指導件数：64件】
  - ・薬剤師配置体制の見直し、薬剤部への事務補助員の配置により、病棟での服薬指導件数を増加、高い患者満足度を維持【元年度1,402件、30年度1,190件】

### ◆経営力の強化

- (1) 職員満足度向上のための取組
- ・「ここ駒アワード（サンクスアワード）」を実施し、メッセージカードにより院内で働く職

---

員間で感謝の気持ちを伝え、功績が著しいセクションや委託業者に対し感謝の言葉を添えて表彰

- 職場環境改善コアチームによる院長への提言プレゼンテーション及び幹部との意見交換会を開催し、提案の具体化に向けた取り組みを開始
- 院内広報誌「猫ベンチのつぶやき」を8回発行し、幹部職員のインタビュー、新入職員やセクションの紹介、職場環境改善コアチームの活動などを掲載

(2) 精神医療の見える化研究プロジェクト（PECO）への参加

- ベンチマーク分析等により、平均在院日数、病床利用率、精神科行動制限件数（隔離・拘束）、抗精神病薬処方量等を全国平均と比較して課題の明確化を図り、各委員会でのデータ利用や適切な医療を提供

(3) 収益の確保

- 適正な入院期間による治療と退院後の安定した地域生活に繋げることを目指しながら、病床の有効活用を推進  
【病床利用率 元年度 78.1%、30年度 78.5%】
- 急性期治療病棟での計画的な受入れ、病床利用率向のため、コアチームによる検討を行い、具体的な取り組みを実施【A2病棟病床利用率 元年度 75.4%、30年度 74.3%】

(4) 情報発信

- 院外広報誌「ここ駒通信」の隣組回覧の範囲を駒ヶ根市から伊南4市町村にまで広げた他、公共施設などに配置し、当院の取り組みを周知
- 地域へ精神科医療の情報を発信するため、上伊那地域の情報誌「月刊かみいな」へコラム記事を連載
- 各報道機関への取材協力により、依存症や児童精神科医療、災害精神医療等についての記事が掲載【新聞等掲載数 元年度 27件、30年度 8件】



## 講演・研究発表等の状況

### (1) 学会

学会の名称	開催日	場 所	講 師 発表者	内 容
第 5 回 CEPD 研究会	R1.5.11	東京都	稲垣 佑輔	統合失調症患者の認知機能障害と主観的困難感
第 35 回長野県作業療法学会 学術大会	R1.6.9	松本市	稲垣 佑輔	一般労働を希望する摂食障害患者との課題共有のために箱作り法検査を実施した一例
日本精神保健看護学会	R1.6.8 ~ R1.6.9	愛知県	鈴木 千穂	成長発達を見据えた思春期・青年期のこころのケア検討会ファミリーレーター
日本病院薬剤師会関東ブロック第 49 回学術大会	R1.8.24 ~ R1.8.25	山梨県	山本 和幸	アルコール離脱時におけるベンゾジアゼピン系薬剤の処方量調査
第 53 回全国作業療法学会 学術大会	R1.9.6 ~ R1.9.8	福岡県	稲垣 佑輔	統合失調症患者の認知機能と認知的困難感の関連性
日本音楽療法学会 第 19 回学術大会	R1.9.20 ~ R1.9.22	大阪府	池上 和代	精神科病院における連携についての一考察
第 38 回信州精神神経学会	R1.10.19	松本市	蓑和 路子	小学生の自殺企図の調査
第 38 回信州精神神経学会	R1.10.19	松本市	廣田聡一郎 須藤 奈美	当院における「地方公共団体による精神障害者の退院支援に関するガイドライン」の取り組みについて
第 29 回医療薬学会	R1.11.2 ~ R1.11.4	福岡県	五味 和彦	統合失調症患者への服薬指導に関する意識調査～精神科薬剤師はどのように捉えているのか？
県立病院等合同研究発表会	R1.12.7	阿南町	三村 ふき	患者のストレスに着眼した関わりの効果
日本精神科看護教授会 長野支部第 6 回看護研究・看護実践発表会	R1.12.14	安曇野市	岩本 久美	デイケア紹介とマインドフルネスについて デイケア勤務を通して学んだ実践報告
第 27 回精神科看護管理 研修会	R2.1.23	大町市	須藤 奈美	「退院後支援に関するガイドライン」の実践報告
第 27 回精神科看護管理 研修会	R2.1.24 ~ R2.1.26	大町市	米山 美穂	行政施策と精神科看護措置入院患者ガイドライン
第 27 回精神科看護管理 研修会	R2.1.24 ~ R2.1.26	大町市	大蔵 真理	強度行動障害を持つ方への支援～病院と地域サービスにおける役割～
全国児童青年精神科医療施設協議会 第 50 回 研修会	R2.2.7 ~ R2.2.8	三重県	古幡こずえ 加納 久子	自閉症スペクトラム障害・注意欠陥多動性障害・反抗挑戦性障害を抱える児の二者関係構築までの関わりを振り返る

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

講演会、依頼者等の名称	開催日	場 所	講 師 発表者	内 容
長野県精神科病院協会 職員研修会	R2.2.22	安曇野市	須藤 奈美	「地方公共団体による精神障害者の退院後支援に関するガイドライン」の取り組みにおける現状と課題

## (2) 講演会等

講演会、依頼者等の名称	開催日	場 所	講 師 発表者	内 容
上伊那医師会学術講演 会箕輪ブロック会	R1.5.21	箕輪町	原田 謙	発達障害と関連する疾患の治療 ～併存する不安・抑うつ症状の アプローチも含めて～
飯田病院認知症疾患セ ンター	R1.6.13	飯田市	埴原 秋児	MCI、認知症と診断された方を 地域で支えていくには
上伊那保健師連絡協議 会	R1.6.14	宮田村	五味 和彦	薬の正しい使い方（出前講座）
公益社団法人長野県看 護協会	R1.6.23	伊那市	小池美佐子	長野県看護協会伊那支部地域保 健活動「まちの保健室」
DPAT 事務局	R1.6.26～ R1.6.28	東京都	臼井 裕子	令和元年度 DPAT 統括者・事務 担当者研修 ファシリテーター
長野県看護協会伊那支 部	R1.7.6	伊那市	岸本 道太	職場においてのストレスケア ～うつ病・自殺予防について～
岐阜県精神保健福祉セ ンター	R1.7.7	岐阜県	臼井 裕子	岐阜県 DPAT 研修インストラク ター
DPAT 事務局	R1.7.13～ R1.7.15	東京都	臼井 裕子	令和元年度 DPAT 先遣隊研修(第 1回目) 研修ファシリテーター
南箕輪村教育委員会	R1.7.30	南箕輪村	熊谷 照美	保護者への配慮について（出前 講座）
一般社団法人日本精神 科看護協会	R1.7.28～ R1.7.29	東京都	高橋たか子	患者－看護師関係 援助関係
DPAT 事務局	R1.9.6～ R1.9.7	東京都	臼井 裕子	「令和元年度大規模地震時医療活 動訓練」訓練コントローラー
アルコール健康障害対 策「SBIRTS の普及セミ ナー」	R1.9.8	松本市	犬塚 伸	長野県における SBIRTS の展開 ～ SBIRTS を用いたかかりつけ 医（産業医）と専門医、自助グル ープとの連携～
伊那市	R1.9.18 R1.10.1	伊那市	多々良恭子	子育てワークショップ及び虐待 自助グループ 講師
岡谷市役所	R1.10.5	岡谷市	山田 慎二	発達が気になる子への対応 ～成長の鍵は思春期にあり～



講演会、依頼者等の名称	開催日	場 所	講 師 発表者	内 容
消防団員セーフティ・ファーストエイド研修	R1.10.19	松川村	北澤夕紀子	防災救援ストレス対策
長野県健康福祉部	R1.11.10	長野市	臼井 裕子	令和元年度長野県 DPAT 研修会講師
長野県作業療法士会	R1.11.16	岡谷市	稲垣 佑輔	精神障害を抱える方への接し方(出前講座)
駒ヶ根市立東伊那小学校PTA	R1.11.20	駒ヶ根市	多々良恭子	親子で使える感情のコントロールとリラクゼーション(出前講座)
市民後見人(法人貢献生活支援員)養成講座	R1.11.20	伊那市	須藤 奈美	精神障害・その他の障害の理解、精神保健福祉法の理解
第13回アルコール問題研修会	R1.12.3	諏訪市	高橋たか子 佐藤みづき	アルコール依存症の病棟ってどんなところ？ ～地域連携と病棟の関わりについて～ (出前講座)
長野県作業療法士会	R.1.12.3	飯島町	稲垣 佑輔	精神障害を抱える人への接し方
信濃音楽療法研究会	R1.12.7	松本市	池上 和代	作業療法における音楽の使い方
辰野町 こころの健康づくり講演会	R1.12.8	辰野町	原田 謙	大人の発達障害の理解と支援
愛知県精神保健福祉センター	R1.12.15	愛知県	臼井 裕子	愛知県 DPAT 研修インストラクター
石川県精神保健福祉センター	R1.12.22	石川県	臼井 裕子	石川県 DPAT 研修インストラクター
昭和伊南総合病院	R2.1.9	駒ヶ根市	岸本 道太	アルコール依存症について
箕輪町精神障がい者当事者の会「もみじの会」	R2.1.16	箕輪町	多々良恭子 富田 雅俊	SST(認知行動療法)について(出前講座)
NPO 法人 チャイルドライン佐久	R2.1.18	佐久市	山田 慎二	子どもの精神状態について
伊那保健福祉事務所	R2.1.21	伊那市	佐藤みづき	依存症者(生活困窮者)の地域生活支援
箕輪町	R2.1.29	箕輪町	黒川めぐみ	統合失調症について学ぶ(出前講座)
諏訪保健福祉事務所管内保健業務研究会	R2.2.14	諏訪市	足立 順代	アルコール依存症の治療と支援
発達障がい診療にかかる研修会	R2.2.15	伊那市	原田 謙	発達障がいの二次障害の支援と予防
名城大学工学部講演会	R2.2.15	愛知県	清水麻莉子	家庭に活かす心理学講座

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

## (3) 講義

機関名	年月日	場所	講師	科目と内容
上伊那医師会付属准看護学院	H31.4.3～ R1.7.17	伊那市	平塚 理絵 楨平 一隆	精神科看護
信州木曾看護専門学校	R1.6.27、 R1.7.4	木曾町	三浦 典子	精神看護学概論（2年）
	R1.7.24、 R1.9.3		松崎 幸代	災害看護（国際看護）（3年）
	R1.9.3		岩本 久美	キャリア開発講座（2年）
	R1.12.6		黒川めぐみ	精神機能障害論（2年）
	R2.1.8		高橋たか子	精神看護援助論Ⅰ（3年）
長野県須坂看護専門学校	R1.5.22～ R1.5.23	須坂市	坂間なつみ	精神援助論Ⅱ（3年）
	R1.10.30～ R1.10.31		熊谷 照美	精神援助論Ⅱ（3年）
	R1.11.12～ R1.11.13			
長野県看護大学	R1.9.20	駒ヶ根市	竹内 玲子	病院オリエンテーション ～精神看護実習に臨むにあたって～
信州木曾看護専門学校	R.1.9.25	木曾町	蓑和 路子	精神医学総論、神経症候学（2年）
	R1.10.2		蓑和 路子	統合失調症、精神科における検査・療法（2年）
	R1.10.11		原田 謙	神経症圏の障害とストレス関連性障害（2年）
	R1.10.21		埴原 秋児	器質性精神障害（2年）
	R1.10.30		蓑和 路子	気分障害（2年）
	R1.11.1		原田 謙	児童・青年期の障害（2年）
	R1.11.29		犬塚 伸	アルコールおよび精神作用物質 関連障害（2年）
信州大学医学部	R1.11.8	松本市	埴原 秋児	精神医学系統講義 神経器質性精神障害
岡谷市看護専門学校	R1.12.13	岡谷市	高橋たか子	精神援助論Ⅰ（依存症） （1年）



#### (4) 研究論文等

著者名	題名	著書・雑誌・集録名・ 発行年・出版社名
原田 謙	「キsher」はこころのSOS：発 達障害の二次障害の理解から	星和書店、2019年5月1日
原田 謙	反抗挑発症／素行症	小児内科、2019年12月号
山田慎二、原田 謙	うつ	小児内科、2019年10月増大号

施設  
の概要

業務  
の概要

治療  
の概要

各種  
データ・  
資料

経営  
の状況

付  
録

## 研修医受入状況

病 院 名	受入期間	受入人数
飯田市立病院	R1.6.3 ~ R1.6.28	1
	R1.9.2 ~ R1.9.27	1
	R1.9.30 ~ R1.10.25	1
	R1.10.28 ~ R1.11.22	1
伊那中央病院	R1.7.1 ~ R1.7.18	1
	R1.7.29 ~ R1.8.23	1
	R1.10.28 ~ R1.11.8	1
	R1.11.25 ~ R1.12.20	1
	R2.1.6 ~ R2.1.17	1

## 実習受入状況 (インターン等を含む)

### (1) 臨床実習

大 学 名 等	受入期間	受入人数
信州大学医学部医学科	H31.4.2 ~ H31.4.24	1
	R1.6.3 ~ R1.6.26	1
	R1.9.2 ~ R1.9.26	1
	R1.9.30 ~ R1.10.23	1
	R1.10.28 ~ R1.11.20	1
	R1.11.25 ~ R1.12.19	1
	R2.1.6 ~ R2.1.29	1
	R2.2.3 ~ R2.2.27	1

### (2) 精神科看護実習

大 学 名 等	区分・学年	受入期間	受入人数
長野県看護大学	臨床看護実習	R1.9.24 ~ R1.10.4	3
		R1.11.25 ~ R1.12.6	3
	在宅看護実習 4年	R1.5.21 ~ R1.5.22	3
		R1.6.18 ~ R1.6.19	3
		R1.7.23 ~ R1.7.24	3
	在宅看護実習 3年	R1.10.8 ~ R1.10.9	3
		R1.11.5 ~ R1.11.6	4
		R1.12.10 ~ R1.12.11	10



大学名等	区分・学年	受入期間	受入人数
信州木曾看護専門学校	臨床看護実習 3年	R1.5.8 ~ R1.5.21	5
		R1.7.2 ~ R1.7.16	10
須坂看護専門学校	臨床看護実習 3年	R1.6.4 ~ R1.6.19	10
		R1.8.27 ~ R1.9.11	9
		R1.10.7 ~ R1.10.24	10
上伊那医師会附属 准看護学院	臨床看護実習 2年	R1.7.22 ~ R1.8.2	9
長野県看護協会	訪問看護実習	R1.9.3、9.10、9.17、 10.1、10.8	1
日本精神科看護協会	認定看護師実習	R1.9.16 ~ R1.10.5	1
		R1.11.18 ~ R1.11.30	1

(3) 作業療法実習

大学名等	区分・学年	受入期間	受入人数
信州大学医学部保健学科 作業療法学専攻	4年生	R1.8.5 ~ R1.9.20	1
	1年生	R1.8.8	19
中部大学生命健康科学部	4年生	R1.6.10 ~ R1.8.2	1
長野保健医療大学 保健科学部	4年生	R1.9.30 ~ R1.11.22	1

(4) 精神保健福祉実習

大学名等	区分・学年	受入期間	受入人数
東京福祉大学	3年生	R1.9.17 ~ R1.10.3	1
長野大学社会福祉学部	4年生	R1.8.19 ~ R1.9.11	1

(5) 薬学生精神科実習

大学名等	区分・学年	受入期間	受入人数
京都薬科大学	5年生	R1.10.1 ~ 10.2	1
昭和薬科大学	5年生	R1.11.13	1
星薬科大学	4年生	R2.1.24	1

## 意見箱へのご意見

病棟を含め、院内6か所に意見箱を設置し、積極的かつ継続的に意見等の収集に努めている。令和元年度は合計171件のご意見、ご要望が寄せられた。これは前年と比較し、37件増加している。

寄せられたご意見等のうち、実行可能なものは速やかに改善を行い、部門横断的な改善活動、情報共有を行い、医療の質の向上に取り組んでいる。

ご意見の内容	28年度	29年度	30年度	元年度
福祉サービスの利用等に関する事	1	1	0	0
障がいや病状に関する事	0	0	0	0
医療に関する事	10	2	9	1
不安の解消・情緒安定に関する事	0	5	2	0
家族関係・人間関係に関する事	0	0	0	0
就労に関する事	0	0	0	0
家計・経済に関する事	0	0	0	0
社会参加・余暇活動に関する事	0	0	0	0
権利擁護に関する事	0	0	1	0
薬に関する事	1	0	0	1
栄養に関する事	5	18	20	27
作業療法に関する事	5	0	0	1
デイケアに関する事	8	0	1	0
訪問看護に関する事	0	0	0	0
接遇に関する事	35	21	24	21
虐待・家庭内暴力に関する事	0	0	0	0
環境整備に関する事	22	23	28	28
治療環境に関する事	47	25	12	37
その他	20	4	37	55
計	154	99	134	171



## 病院運営各種委員会等

令和2年3月31日現在

会議名称	所掌事項
病院運営協議会 *	病院の運営等に関し、外部委員からの提言に関する事
病院運営会議	病院の運営等に関する事
倫理委員会 *	倫理審査に関する事
医療観察法病棟 外部評価会議 *	医療観察法ユニットの運営状況や治療内容の外部評価
医療観察法病棟 倫理会議 *	医療観察法ユニットにおける倫理に関する事
医療観察法病棟 地域連絡会議 *	医療観察法ユニットにおける地域連携の確保に関する事
医療観察法病棟 運営会議	医療観察法ユニットの運営状況に関する事
医療観察法病棟 治療評価会議	医療観察法ユニットにおける治療効果の評価に関する事

\* 外部委員あり

委員会名称	所掌事項
安全衛生委員会	<p>目的： 職場の安全衛生に関する事</p> <p>活動実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>働きやすい職場づくりの推進</li> <li>超過勤務縮減の取組</li> <li>職員相談体制の充実による心身の健康増進</li> <li>5S活動の促進及び定着と、公務災害の防止</li> <li>交通安全の推進</li> </ul>
医療安全管理委員会	<p>目的： 医療安全に関する事</p> <p>活動実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な委員会開催による院内医療安全管理体制の確保</li> <li>医療事故等の検証による再発防止の徹底</li> <li>医療安全職員研修の実施による安全意識の啓発</li> </ul>
医療ガス安全管理委員会	<p>目的： 医療ガスの管理・運用に関する事</p> <p>活動実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療ガス設備日常点検による安全の確保</li> <li>安全の確保の為、外部委託による医療ガス定期点検を実施</li> <li>医療ガス職員研修の実施による安全意識の啓発</li> </ul>
院内感染対策委員会	<p>目的： 感染対策に関する事</p> <p>活動実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感染対策研修会の出席率向上</li> <li>感染対策に関する理解度の促進</li> <li>院内ラウンドの実施</li> <li>感染対策情報の迅速な提供</li> <li>院内感染対策マニュアルの改訂</li> <li>社会情勢に応じた対策や事業継続のための方針を決定（3月）</li> <li>院内新型コロナウイルス感染症対策本部を設置（3/30）</li> </ul>
栄養委員会	<p>目的： 入院患者の栄養管理に関する事</p> <p>活動実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者の食事満足度の向上策について検討</li> <li>NST 介入症例の紹介等による栄養サポート体制の強化</li> <li>NST 介入につなげる方法の検討</li> </ul>
栄養サポート委員会	<p>目的： 栄養リスクのある患者の早期抽出及びモニタリングの実践に関する事</p> <p>活動実績：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>栄養サポートが必要な患者の早期抽出とモニタリング</li> <li>リフィーディング症候群チェックリストの作成</li> <li>栄養サポートに関する研修会の開催（2回）</li> <li>NST ラウンドの実施（新規 69 名、延べ 500 人）</li> </ul>

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

委員会名称	所掌事項
患者家族相談窓口 月例会議	<p>目的： 苦情、相談等に関する事</p> <p>活動実績： ・相談等の内容及び担当部署の対応状況の確認 ・苦情、意見等の分析及び改善活動の効果検証 ・困難事例に対する対応協議</p>
教育研修委員会	<p>目的： 職員研修及び公開講座・出前講座に関する事</p> <p>活動実績： ・教育研修に係る PDCA サイクルの確実な運用 ・研究研修費の効果的な予算執行、管理 ・職員が活躍できる機会の積極的な提供 (院内研究発表会などの開催) ・精神科研修・研究センターとの連携</p>
クリニカルパス委員会	<p>目的： クリニカルパスの作成・管理・運用に関する事</p> <p>活動実績： ・患者パスの利用促進 ・クリニカルパス利用促進のための啓発、 広報活動及び調査検討、企画立案</p>
クロザリル治療委員会	<p>目的： クロザリルを用いた適正な治療の推進に関する事</p> <p>活動実績： ・クロザリルの治療申請について、4件の検討を実施</p>
行動制限最小化委員会	<p>目的： 入院患者の隔離・拘束に関する事</p> <p>活動実績： ・院内における行動制限状況の適切性、 最小化のための検討会議を定期開催 ・全職員を対象とした精神保健福祉法、隔離・拘束の早期 解除や、危機予防のための介入技術に関する研修会を実施</p>
広報委員会	<p>目的： 広報活動に関する事</p> <p>活動実績： ・広報室の設置及び広報委員会体制の見直し ・各種広報媒体作成及び運営</p>
サービス向上委員会	<p>目的： 職員の接遇に関する事</p> <p>活動実績： ・全職員を対象とした接遇標語や研修による啓発活動 ・院内掲示物ラウンドの実施</p>
事後審査委員会	<p>目的： 特定医師による特例措置の妥当性の検証に関する事</p> <p>活動実績： ・特定医師による措置について6件の事後審査を実施</p>
児童運営会議	<p>目的： 児童精神科治療に係る運営方針に関する事</p> <p>活動実績： ・子どものこころ診療センター開設準備</p>
児童虐待対策委員会	<p>目的： 児童虐待への対応に関する事</p> <p>活動実績： ・関係機関との迅速で適切な連携 ・児童虐待ケース進行管理による継続的な支援を行う体制 づくり ・子ども虐待に対する院内研修の実施</p>
医療情報システム 管理委員会	<p>目的： システム管理に関する事</p> <p>活動実績： ・電子カルテ、オーダーリングシステムの円滑な運用 ・院内の適正な情報化推進</p>





委員会名称	所掌事項
褥瘡対策委員会	<p>目的： 入院患者の褥瘡予防と対応に関すること</p> <p>活動実績： ・褥瘡の予防、適切な治療の実施 ・院内の褥瘡対策の体制整備 ・褥瘡予防研修会の実施</p>
診療情報管理委員会	<p>目的： カルテ記載・管理に関すること</p> <p>活動実績： ・診療録の量的、質的監査の実施 ・災害時カルテの検討</p>
診療情報提供委員会	<p>目的： 診療情報の開示に関すること</p> <p>活動実績： ・診療情報開示請求件数 11 件</p>
治験受託検討委員会	<p>目的： 治験受託の決定と適正な執行に関すること</p> <p>活動実績： ・新規治験の申し込みに対して円滑な受託可否を検討 ・薬剤部新設に伴い、委員会設置規程の改訂</p>
防災対策委員会	<p>目的： 防災に関すること</p> <p>活動実績： ・前回訓練の反省を生かした訓練の実施 ・訓練結果を踏まえた防災研修会の実施</p>
薬事委員会	<p>目的： 医薬品の採用・廃止に関すること</p> <p>活動実績： ・適切な後発品採用の実施 ・向精神薬等の適正な使用の推進</p>
QM 委員会	<p>目的： 医療の質の向上に関すること</p> <p>活動実績： ・内部監査員の教育 ・病院機能評価期中確認に伴う自己評価調査票の見直し ・内部監査員による院内ラウンドの実施 ・ケアプロセス調査の実施 1 件</p>

施設の概要

業務の概要

治療の概要

各種データ・資料

経営の状況

付録

